

新潟職能短火通信

〈千年以上の建物をそのままに(遷宮)〉

今回は、遷宮についてお話ししたいと思います。

遷宮(せんぐう)とは、神社の本殿の造営または修理の際に、神体を従前とは異なる本殿に移すことです。

伊勢神宮で行われる遷宮は、東・西にある同じ広さの敷地に二十年毎に交互に社殿を建て替えられる式年遷宮(しきねんせんぐう)といわれるものです。

出雲大社も約六十年毎に建て替えられてきた式年遷宮ですが、出雲大社の場合は、修繕が必要な部分を修造する方法が取られています。

平成の遷宮では、大神を本殿から仮殿の方に移してもらい、その間に松皮葺の屋根、回廊などを修造するというものです。このため、出雲大社の場合は「造替遷宮」「造営遷宮」ともいわれます。

なぜ、昔から遷宮は行われてきたのでしょうか？それは、建築構造に

原因があります。昔、神社は柱を地面深く埋めて立てて、その上に屋根を覆う構造をとってきたため、そのため、年数が経つ内に柱が朽ちてしまひ建て替えや修繕を必要としました。

現在では、伊勢神宮を除いてほとんどの神社は、柱が朽ちないように礎石を敷いているため、百年以上も前の神社建築が各地で見られています。

平成二十五年には、日本を代表する伊勢神宮と出雲大社で遷宮が行われます。

建物を一新し、日本という国を造った神が、昔からの受け継がれている姿として新たに生まれ変わります。

遷宮に併せて、五月には縁結びの出雲大社に、十月にはお伊勢参りに行かれてはいかがでしょう。

新潟職業能力開発短期大学校 住居環境科

矢部俊太郎

「大倉翁と新発田」(十)

川瀬勝一郎

○新発田町の繁栄を願って

翁の郷里新発田に対する愛着心は深く且つ濃やかなもので、有形無形の援助は常に町の繁栄を願ってのものであった。

明治十一(一八七八)年、父母の二十三回忌に貧しい方たちのために、新発田町へ一千元を贈っている。当時としては大変大きな金額で、随分騒がれたものだったという。翁四十一歳。

明治四〇(一九〇七)年、町財政の基金として五万円を寄付。これは水道敷設のためだったが、計画が中止になったので、この様な名目で寄付した。翁七十歳。

大正五(一九一六)年、諏訪神社境内に続く土地三千坪を購入、公園を造成し新発田町に寄付。(土地買収費、維持費二万円)現在の東公園である。

(この公園に、鶴友会及び新発田町有志により、翁の喜寿記念の像を建立されたが、この除幕

式で、翁はこの冷たき銅像に暖かい魂を入れるべく、製糸工場を設立し土地の産業発達に資したいと考えたのであった。翁七十九歳。

諏訪神社へ石造大鳥居寄進(現在、神社社殿向かって右側の道路に面して建つ) 大正七(一九一八)年、新発田町に株式会社大倉製糸工場を設立する。(資本金、百五十万円)翁八十一歳。

大正十四(一九二五)年、新発田町の水道敷設に五万円寄付。翁八十八歳。

以上、主なものを列記したが、他に有形無形の援助は数多い。



昭和初期の大倉公園

食通に認められた味

数の子ダイオ漬

株式会社 白根屋商店

新発田市住吉町1 ☎22-5181

季節の果物地方発送承っております

冠婚葬祭、果物盛りゴ、缶詰盛りゴ

お気軽にお問い合わせ下さい。 ☎0120-162660

くだものの店 **田中商店**

新発田市駅前通り ☎0254-22-2660 FAX 0254-22-1724

Nc nob Collection 宝飾ブティック

ノブ・コレクション

新発田市御幸町1-2-18 TEL.(0254)24-4692

「秋の花贈り」に最適なお花をとりそろえました。

(株)九楽園生花店

こころにとどく 花キューピット

新発田市大手町3-1-4 ☎26-1187☎ FAX 22-3552

次回のアレンジメント教室は

10月21日(木) 10:00~12:00 花材実費 2,000円(税込) 受講料無料!

(あらかじめ電話でお申し込み下さい。)

新発田建設 株式会社

代表取締役社長 渡辺 明紀

本社 新発田市富塚1942番地 ☎ (0254) 27-5711(代)

銘茶・のり・コーヒー豆

お茶の松屋

新発田市中央町3丁目6-15 ☎(0254) 22-2122

新発田市舟入町3丁目(ウオロク コモ店) ☎(0254) 26-6340

新潟県新聞 10月12日(火) 1月2日(金) 事前に申込下さい。